議案第１６～２５号　参考資料③

令和８年度
当初予算　説明資料一覧

和歌山県高野町

目　　次

【一般会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
1	1	1	議会費	議会運営事業	1	35
2			総務費			
	1	5	基金管理費	基金管理事業	2	39
		6	財産管理費	公共施設除却事業	3	42・43
		8	地域振興費	移住定住促進事業	4	46
		9	支所費	へき地患者輸送事業	5	49
		17	ふるさと応援寄附金事業費	ふるさと応援寄附金事業	6	56・57
	5	2	地籍調査費	地籍調査事業	7	63・64
3			民生費			
	1	1	社会福祉総務費	寄附金活用生活支援事業	8	66
				地域福祉計画策定事業	9	66
		2	障害者福祉費	障害者児地域生活支援事業	10	67
				障害者児自立支援（障害福祉サービス）給付事業	11	67・68
				障害者基本計画・障害者福祉計画・障害児計画策定事業	12	69
		3	高齢者福祉費	外出支援助成券交付事業	13	69
	2	1	児童福祉総務費	こども医療費助成事業	14	72・73
		5	こども園費	認定こども園運営事業	15	74
		6	子育て支援事業費	子育て支援センター運営事業	16	75
				地域子育てサポート事業	17	75
		7	学童保育費	学童保育所運営事業	18	75
4			衛生費			
	1	2	予防費	がん検診事業	19	78
				動脈硬化健診事業	20	78・79
				予防接種事業	21	79・80
	2	1	環境衛生費	太陽光発電設備・蓄電池導入支援事業	22	83
	3	2	塵芥処理費	一般廃棄物収集運搬事業	23	86
	4	1	上水道施設費	飲料水供給施設等管理事業	24	87・88
5			農林業費			
	1	4	鳥獣対策費	ツキノワグマ被害防止緊急対策事業	25	91・92
	2	2	林業振興費	木育推進事業	26	93

目　　次

【一般会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
6			商工費			
	1	3	観光費	駐車場管理運営事業	27	98
				公衆便所管理運営事業	28	98
7			土木費			
	2	1	道路橋梁維持費	町道除雪融雪管理事業	29	103
	4	1	都市計画総務費	立地適正化計画策定事業	30	105
		4	都市環境整備事業費	美しい町並み景観整備事業	31	105
8			消防費			
	1	1	常備消防費	消防職員教育事業	32	110
		2	非常消防費	消防団運営事業	33	111・112
		3	消防施設費	消防団装備整備事業	34	113
9			教育費			
	1	3	教育諸費	外国語教育支援事業	35	118
				通学支援事業	36	118
		4	奨学金費	定住奨学金事業	37	118
	2	2	教育振興費	児童生徒体験活動事業	38	121
				小学校義務教育無償化事業	39	121・122
	3	1	中学校管理費	富貴中学校運営事業	40	122
		2	教育振興費	中学校義務教育無償化事業	41	124
	4	2	公民館費	公民館活動推進事業	42	126・127
		5	高野山学推進事業費	高野山学推進事業	43	129
	5	2	給食センター費	学校給食運営事業	44	130
	6	2	参詣道保存管理事業費	参詣道保存管理事業	45	132

目　　次

【国民健康保険特別会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
5			保健事業費			
	2	1	その他保健事業費	保健事業	46	18・19

【国民健康保険富貴診療所特別会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
1			総務費			
	1	1	一般管理費	診療機器更新事業	47	11

【富貴財産区特別会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
1			総務費			
	1	1	財産管理費	財産区管理事業	48	7

【介護保険特別会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
4			地域支援事業費			
	2	1	介護予防一般高齢者施策事業費	介護予防普及啓発事業（一般高齢者施策）	49	16

【高野町立高野山総合診療所特別会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
1			総務費			
	1	1	一般管理費	医療サポート連携事業	50	12・13

【後期高齢者医療特別会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
3			保健事業費			
	1	1	保健事業費	高齢者保健事業	51	9・10

目　　次

【簡易水道事業会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
4			資本的支出			
	1		建設改良費			
		1	営業設備費	給水車専用車庫設置事業	52	17
		2	配水設備改良費	高野山簡易水道配水管改良工事	53	17
				花坂地区配水管延長布設工事	54	17

【富貴簡易水道事業会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
4			資本的支出			
	1		建設改良費			
		1	営業設備費	富貴簡易水道メーター取替事業	55	12

【下水道事業会計】

款	項	目	名称	事業名	ページ	予算書ページ
4			資本的支出			
	1		建設改良費			
		2	下水道整備費	公共下水道施設長寿命化事業	56	16
				公共下水道事業計画作成業務	57	16

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	1	項	1	目	1	目名	議会運営事業

事業名：　議会運営事業　　課・室名：　議会事務局　担当氏名：　中西　健　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】
議会運営及び議会の運営に伴う事務処理等

【本年度事業の概要】
・定例会等に係る経費。
・議会の運営に関しての先進地視察研修実施。
・議会だよりの発行（年4回　5月,8月,11月,2月）。
・議会交流活動の実施。

その他議会運営等、全般に関して実施する。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
6,279	6,475	6,475	19,229

予算要求の内容

事業費	6,475 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	6,475 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
8	費用弁償	800
	普通旅費	181
	研修旅費	1,430
	議員普通旅費	209
9	議会交際費	250
10	消耗品費	289
	食糧費	50
	印刷製本費（議会だより）	509
	法規追録	239
11	電信料	126
12	会議録作成委託料	1,715
18	伊都郡町村議会議長副議長会分担金	677
合計		6,475

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
合計		0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	5,584 千円
特定財源	千円
一般財源	5,584 千円

特記事項
善通寺地議会との交流(善通寺市)

令和6年度決算

事業費	5,020 千円
特定財源	千円
一般財源	5,020 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	6,279 千円
特定財源	千円
一般財源	6,279 千円

特記事項
善通寺地議会との交流(高野町)

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	2	項	1	目	5	目名	基金管理費

事業名：　基金管理事業

課・室名：　税務会計課　担当氏名：　倉垣内　弘晃　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

経常的な基金管理業務のうち
各基金への利子運用分の積み立て（及び操出）
　財政調整基金（本体・丹生川ダム・駐車場）、 財政調整基金（土地開発分）、減債基金、 街並景観及び自然景観振興整備基金、 環境維持基金、 森林整備基金、 ふるさと応援寄附基金、 公共施設等整備基金、 森林環境譲与税基金、 奨学基金　への積立及び　土地開発基金への操出

※福祉基金利子3,378千円については果実運用型のため事業へ直接充当

【本年度事業の概要】

利子の積み立て　運用益総額　36,041,273円　（うち果実運用分　3,378,608円除く　32,662,665円）
◆定期預金　（7,048,198,290円）　による運用益　　22,253,273円　（平均利率　0.316%）
　JA　0.325%、 その他　0.25%
◆債券運用　（834,449,000円）　による運用益　　13,788,000円　（平均利率　1.652%）
　国債および地方債　0.933%～2.400%

その他　利子以外の積み立て
　財政調整基金（本体）　⇒　【企画公室】
　財政調整基金（駐車場分）　⇒　【総務課】 駐車場協力金の積み立て
　財政調整基金（土地開発分）　⇒　【総務課】 桜ヶ丘販売分の積み立て
　環境維持基金　⇒　【総務課】 寄附金の積み立て
　森林環境譲与税基金　⇒　【観光振興課】 事業充当残の積み立て
　ふるさと応援寄附基金　⇒　【企画公室】 寄附金から経費を除く分の積み立て
　奨学基金　⇒　【教育委員会】 貸付金返還分、寄附金の積み立て

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	169,280 千円	財源内訳			
特定財源	133,294 千円	国庫	0	起債	0
一般財源	35,986 千円	県費	0	その他	133,294

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
24	財政調整基金積立金	5,639
	財政調整基金積立金（土地開発分）	1,774
	減債基金積立金	280
	街並景観及び自然景観振興整備基金積立金	154
	環境維持基金積立金	9
	森林整備基金積立金	97
	ふるさと応援寄附基金積立金	121,662
	公共施設整備基金積立金	1,947
	森林環境譲与税基金積立金	36,215
	奨学基金積立金	1,444
27	土地開発基金積立金	59
	合計	169,280

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
17	各基金利子（福祉基金除く）	32,657
	桜ヶ丘土地売払収入	1,400
18	ふるさと応援寄附金	96,000
21	施設利用協力金	1,836
	奨学金貸付元金返還金	1,401
	合計	133,294

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	289,242 千円
特定財源	76,029 千円
一般財源	213,213 千円

特記事項
森林環境譲与税　18,127千円

令和6度決算

事業費	242,130 千円
特定財源	113,353 千円
一般財源	128,777 千円

特記事項
森林環境譲与税　32,577千円

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	109,367 千円
特定財源	93,437 千円
一般財源	15,930 千円

特記事項
森林環境譲与税　15,094千円
一般財源との差額825千円は財調（土地）への824,740円積立

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	新規

款	2	項	1	目	6	目名	財産管理費

事業名：　公共施設除却事業　　課・室名：　総務課　　担当氏名：　森田　敏耶　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】
高野町が保有する公有財産について適正管理を行うために、使用しなくなった施設の除却を行う。

【本年度事業の概要】
令和7年度に行われている旧高野山中学校施設除却のため実施設計に基づき、校舎棟、プールの解体工事・監理業務を行う。
令和7年度に行われている旧高野山小学校施設除却のため基本設計に基づき、実施設計業務を行う。

全体計画等
高野町が保有する公有財産について適正管理を行うために、使用しなくなった施設の除却検討を行う。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
9,416	37,442	23,000	69,858

予算要求の内容

事業費	254,034 千円	財源内訳			
特定財源	253,100 千円	国庫		起債	224,100
一般財源	934 千円	県費		その他	29,000

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	旧高野山小学校解体工事実施設計業務委託料	8,877
	旧高野山中学校解体工事監理業務委託料	4,917
	旧高野山中学校解体工事	240,240
	合計	254,034

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
22	旧高野山中学校解体事業債	216,200
	旧高野山小学校除却事業債	7,900
19	公共施設等整備基金繰入金	29,000
	合計	253,100

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	0 千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	1,298 千円
特定財源	千円
一般財源	1,298 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	9,416 千円
特定財源	8,400 千円
一般財源	1,016 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	2	項	1	目	8	目名	地域振興費

事業名：　移住定住促進事業

課・室名：　観光振興課　担当氏名：　関口　翔太　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

町内への移住を促進するために、移住希望者の相談に対する円滑な相談体制の構築を始め、主に国や和歌山県が主催する移住関連フェアへの出展を実施し、高野町への移住に興味があり、東京や大阪を始めとした都市部に在住している移住希望者への説明等を実施する。令和8年度も伊都振興局管内自治体の合同説明会を実施する予定。また、移住者向け補助金として、高野町移住定住促進補助金及び高野町移住奨励空き家活用住環境整備補助金を交付する。

【本年度事業の概要】

定住者を増加させることで地域の活性化を図り、都市部からの移住希望者に対する相談業務などの移住支援を行うための旅費及び経費を計上。
令和7年度は、和歌山県及び伊都振興局が主催する、管内自治体参加の移住イベントに参加し、移住相談対応や各種補助金の案内を行った。来年度は、より一層移住相談会への参加や、補助金制度を活用した定住促進に注力していく方針であるため計上。
＝令和7年度実績＝
■令和7年度参加イベント　各職員2名で参加
・わかやま移住相談会　（8月16日）　相談件数5件
・高野・山麓BAR座談会　（10月25日）　参加人数18名
・わかやまLIFE移住フェア　（10月26日）　相談件数4件
・大阪移住相談会　（12月14日 予定）　※実施前の為ため、相談件数未定
・東京移住相談会　（3月8日　予定）　※実施前の為ため、相談件数未定
■補助金
・定住促進補助金　住宅建築費：2000千円　中古住宅購入費：800千円
・移住奨励空き家活用事業補助金　水回り改修にかかる費用：1000千円

全体計画等

他の業務の出張に併せて日程を調整し旅費削減に努めることや、出展料がなるべくかからないフェアに重点的に参加するなど、コスト削減に務める。各種補助金については、例年一定のニーズがあるので当面現状維持。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
9,551	9,562	9,562	28,675

予算要求の内容

事業費	7,849 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	7,849 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
8	普通旅費	237
11	電信料	0
	郵送料	12
18	定住促進補助金	3,600
	移住奨励空き家活用事業補助金	4,000
	合計	7,849

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
	合計	0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	2,563 千円
特定財源	千円
一般財源	2,563 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	4,977 千円
特定財源	千円
一般財源	4,977 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	9,551 千円
特定財源	千円
一般財源	9,551 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	2	項	1	目	9	目名	支所費

事業名：　へき地患者輸送事業

課・室名：　富貴支所　　担当氏名：　垣内　宏樹　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

富貴地区内で急病人等が発生した場合に、最寄りの医療機関へ患者を搬送するための経費。

【本年度事業の概要】

○特殊勤務手当（令和7年度から富貴診療所特別会計より移管）
　医師　　5,000円×10回
　看護師　3,000円×10回　（30,000円減）
（へき地患者輸送車に同乗した場合に支給）
○へき地患者輸送車運転手当
　3,000円×2名×20回＝120,000円
　3,000円×1名×5回＝15,000円（緊急時用）（増減なし）
○修繕料
　①修繕料（LEDライト取替）　22,163円
　②法定6ヶ月点検料　14,300円×2回＝28,600円
　③その他修繕料　30,000円（発生時、緊急対応用）
○損害保険料：8,000円（毎年11月更新）
　患者を運搬中に起きた転落等の訴訟事故に対応するための保険
○感染防止対策用検査及びワクチン接種料　77,000円（インフルエンザ9人、ワクチンは1人分）
　平成31年3月28日付消防救第49号通知救急隊の感染防止対策の推進に基づき計上
○救急搬送補助業務委託料（補助員分）
　待機　2,000円×184日＝368,000円（3日6,000円減）
　出動　5,000円×10回＝50,000円

全体計画等

令和8年度：6か月点検を2回計上
令和9年度：2年ごとの車検整備分を計上

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
1,144	881	900	2,925

予算要求の内容

事業費	881 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	881 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
3	特殊勤務手当	80
	へき地患者輸送車運転手当	135
10	消耗品費	50
	燃料費	22
	修繕料	81
11	損害保険料	8
	クリーニング料	10
	感染防止対策用検査及びワクチン接種手数料	77
12	救急搬送補助業務委託料	418
	合計	881

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
	合計	0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	899 千円
特定財源	千円
一般財源	899 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	786 千円
特定財源	千円
一般財源	786 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	1,144 千円
特定財源	千円
一般財源	1,144 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	2	項	1	目	17	目名	ふるさと応援寄付金事業費

事業名：　ふるさと応援寄附金事業　　課・室名：　企画公室　　担当氏名：　是松　直樹　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

魅力ある返礼品の拡充や特色ある寄附の使途の設定、インターネット媒体を中心としたPR強化等により、ふるさと納税（寄附）の増加に努めるとともに、高野町の魅力発信・地場産業の振興を図る。

【本年度事業の概要】

昨年度に約2200品目から約3,400品目まで増加させたふるさと納税返礼品をよりPRしていくことに努める。

目標金額2億円を目指すための主な施策として、リピーター獲得のためDMメールを活用し、前年度までの寄附者に対して訴求する。

また新規寄付者獲得のために引き続きInstagramやline等のSNSを活用し、寄附者に対して積極的にアプローチしていくよう努める。

令和7年度さとふるの検索連動型広告が驚異的な伸びを見せているため、令和8年度は楽天のRPP広告を控えさとふるにシフトしていくことも検討中。

現在の中間事業者であるJTBが3年経過したことにより令和8年度には中間事業者の見直しを実施する。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
2,188,626	200,000	1,260,000	3,648,626

予算要求の内容

事業費	104,000 千円	財源内訳			
特定財源	104,000 千円	国庫		起債	
一般財源	0 千円	県費		その他	104,000

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	印刷製本費	42
11	郵送料	1,484
12	ふるさと納税業務委託料	102,474
	合計	104,000

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
18	ふるさと応援寄附金	104,000
	合計	104,000

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	75,087 千円
特定財源	75,087 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	97,504 千円
特定財源	97,504 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	80,200 千円
特定財源	80,200 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	2	項	5	目	2	目名	地籍調査費

事業名：　地籍調査事業　　課・室名：　総務課　　担当氏名：　森田　敏耶　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

平成9年度より大字花坂地区から地籍調査に着手し、平成17年度に一旦現地調査を中止した（事業は継続）。ふたたび平成18年度より大字高野山地区から着手し、おもに県事業と関連した地域の調査を行い現在に至る。令和2年度より15年で調査完了を目指して計画を策定。（令和17年に登記完了目指す）

【本年度事業の概要】

事業費の負担割合は、国1/2、都道府県1/4、市町村（高野町）1/4

【継続及び新規】

細川　（継続）　1.02k㎡
花坂　（継続）　1.26k㎡
西富貴　（継続）　0.37k㎡
継続地区合計　2.65k㎡
西富貴　（新規）　0.64k㎡
樫原　（新規）　0.37k㎡
大滝　（新規）　4.10k㎡
新規地区合計　5.11k㎡

にかかる地籍調査委託業務と閲覧委託料およびそれに係る経費を計上する

全体計画等

高野町全体面積は137．03k㎡であり調査対象は国有林を除く114．66k㎡。令和7年度以降の未調査面積は68．94k㎡となる。令和2年度から3地区3班体制で実施

●令和7年度予定の実施状況：面積50.55k㎡、進捗率44.09%

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
79,943	45,930	47,000	172,873

予算要求の内容

事業費	176,742 千円	財源内訳			
特定財源	160,485 千円	国庫		起債	
一般財源	16,257 千円	県費	131,025	その他	29,460

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
1	地籍調査推進委員報酬	160
10	消耗品費	100
	印刷製本費	131
11	郵送料	628
	受診料	30
12	地籍調査測量業務委託料	173,284
	地籍調査閲覧業務委託料	1,350
13	システム使用料	858
18	県地籍調査推進協議会負担金	10
	近畿ブロック国土調査推進連絡協議会負担金	54
	全国国土調査協会負担金	137
	合計	176,742

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
14	地籍調査成果品交付手数料	50
16	地籍調査負担金	131,025
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	29,410
	合計	160,485

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	150,554 千円
特定財源	96,090 千円
一般財源	54,464 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	168,693 千円
特定財源	99,517 千円
一般財源	69,176 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	200,258 千円
特定財源	120,315 千円
一般財源	79,943 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	3	項	1	目	1	目名	社会福祉費

事業名：　寄附金活用生活支援事業

課・室名：　介護福祉課　担当氏名：　中尾　成真　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

寄附金を財源とし、寄附者の意思に沿い、生活支援を必要とする家庭に対しお米等を配付する。

【本年度事業の概要】

令和3年4月コロナ過において、ひとり親や生活困窮の方々に役立てて欲しいとの主旨で匿名の寄附金が届き、以降毎月欠かさずご寄附いただいている。寄附者の意思に沿う事業を検討し、米や生活支援物資の配布事業を令和5年度から実施してきた。

・生活保護世帯、非課税子育て世帯、その他支援が必要な家庭を対象とする。
・町内事業所で米等の生活支援物資を購入する。
・安否確認、相談業務を兼ねて職員が配付。

令和8年度実施計画

支援対象世帯に対し、年3回（8月、年末、年度末）お米等を配付。

・25世帯×5,500円×1.10×3回=453,750円

全体計画等

寄付金を財源として、寄付者の意思に沿うよう生活に困窮している世帯や低所得の子育て世帯を対象に事業を実施。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
1,365	454	400	2,219

予算要求の内容

事業費	454 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	454 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
7	生活支援消耗品費	454
	合計	454

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
	合計	0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	705 千円
特定財源	千円
一般財源	705 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	303 千円
特定財源	千円
一般財源	303 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	1,062 千円
特定財源	千円
一般財源	1,062 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	新規

款	3	項	1	目	1	目名	社会福祉費

事業名：　地域福祉計画策定事業

課・室名：　介護福祉課　担当氏名：　中尾　成真　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

社会福祉法第107条の規定に基づき、住民と行政が協働し、地域の福祉課題を解決するための基本方針を定める計画策定事業。

【本年度事業の概要】

・平成30年4月法改正以降、5年毎の策定が市町村の努力義務とされた。本町においては第3期となる今回、町民へのアンケート調査を実施するとともに住民参加の協議体を設け、現状把握、目標設定を行う。
・本計画に基づき策定する福祉活動計画も併せて策定する。
・また、かねてより法務省和歌山保護観察所、紀北伊都保護司会、和歌山県県民生活安全課からの要請を受け、再犯防止推進法に基づく再犯防止推進計画を本計画に盛り込むこととする。

《業務委託内容》
①計画策定に向け策定委員会開催・運営進行管理（4回程度）
②住民アンケート等による現状把握、動向把握等基礎調査実施
（1,000件程度）
③骨子案の作成、目標値の設定
④計画素案作成　A4判、1色、80項、70冊
⑤概要版の作成　A4判、カラー、8項、100冊

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
	5,500	0	5,500

予算要求の内容

事業費	5,500 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	5,500 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	地域福祉計画・地域福祉活動計画策定業務委託料	5,500
	合計	5,500

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
	合計	0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	3	項	1	目	2	目名	障害者福祉費

事業名：　障害者児地域生活支援事業

課・室名：　介護福祉課　担当氏名：日吉田　歩実　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

障害者総合支援法に基づき、障害者児が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を確保するため、町が主体となり地域の特性や利用者の状況に応じた障害福祉サービスを提供する。

【本年度事業の概要】

【継続事業】　＊令和7年度の実績を参考に予算要求増減あり。
○手話奉仕員養成研修事業
○成年後見制度利用支援事業
○移動支援事業
○日中一時支援事業
○障害者基幹相談支援センター等機能強化事業
○身体障害児者日常生活用具給付・貸付給付費事業
○訪問入浴支援事業（令和6年度から）
【新規事業】 186千円
○理解促進研修・啓発事業（新規事業）
・手話言語国際デー(9/23)啓発事業として講演会を開催。
手話講習会講師謝礼　100千円×1人+10千円×2人＝120千円
消耗品費　啓発グッズ(サコッシュ)　2千円×1.10×30個＝66千円

全体計画等

地域の多様なニーズに対応するため、提供サービスの充実を進めるとともに、成年後見制度について、利用調整を担う中核機関及び調整会議体の設置等により権利擁護を推進する体制の強化に努める。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
4,185	3,285	3,285	10,755

予算要求の内容

事業費	3,285 千円	財源内訳				
特定財源	2,466 千円	国庫	1,644	起債		
一般財源	819 千円	県費	822	その他		

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
7	手話講習会講師謝礼	180
10	消耗品費	69
11	成年後見申立手数料	128
12	移動支援業務委託料	288
12	日中一時支援事業（タイムケア）	61
12	訪問入浴支援委託料	510
12	障害者基幹相談支援センター運営事業委託料	293
12	手話奉仕員養成研修委託料	101
19	身体障害児者日常生活用具給付貸付給付金	1,319
19	成年後見制度利用支援給付費	336
合計		3,285

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
15	地域生活支援事業費等補助金	1,644
16	地域生活支援事業費等補助金	822
合計		2,466

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	1,091 千円
特定財源	922 千円
一般財源	169 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	1,203 千円
特定財源	1,093 千円
一般財源	110 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	4,354 千円
特定財源	3,120 千円
一般財源	1,234 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	3	項	1	目	2	目名	障害者福祉費

事業名：　障害者児自立支援（障害福祉サービス）給付事業

課・室名：　介護福祉課　担当氏名：日吉田　歩実　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

障害者総合支援法に基づき障害福祉サービスを利用した際の費用を給付する。

【本年度事業の概要】

○障害者自立支援給付費（障害福祉サービス等（障害介護給付））

29名の障害福祉サービス利用者に対し、個別に前年度の実績見込額、直近のモニタリング、相談支援内容等から所要額を積算。令和7年度中に新規サービス利用者が2名追加となったことから、介護給付費、訓練等給付費を前年度比約3,000千円増額の予算要求。

○障害児施設給付費

就学児童で放課後デイサービスや計画相談の利用が4名、就学前の児童発達支援利用児童が1名に加え、令和8年度から1名増となる予定を踏まえ、前年度比約8,300千円増額の予算要求。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
93,936	103,111	103,111	300,158

予算要求の内容

事業費	103,111 千円	財源内訳			
特定財源	76,788 千円	国庫	51,192	起債	
一般財源	26,323 千円	県費	25,596	その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	消耗品費	35
11	主治医意見書作成料	21
11	障害福祉サービス費（介護給付費）支払手数料	83
11	障害者自立支援共同処理手数料	21
11	障害児自立支援給付費支払手数料	9
13	障害福祉業務総合支援ソフト賃借料	476
18	障害者区分認定審査会負担金	82
19	身体障害者補装具交付（修理）給付費	1,223
19	障害者自立支援給付費	87,597
19	障害児施設給付費	13,564
合計		103,111

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
15	障害者自立支援給付費負担金	44,410
15	障害児施設給付費等負担金	6,782
16	障害者自立支援給付費負担金	22,205
16	障害児施設給付費等負担金	3,391
合計		76,788

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	95,762 千円
特定財源	71,626 千円
一般財源	24,136 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	94,663 千円
特定財源	68,022 千円
一般財源	26,641 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	93,936 千円
特定財源	68,771 千円
一般財源	25,165 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	新規

款	3	項	1	目	2	目名	障害福祉費

事業名：　障害者基本計画・障害者福祉計画・障害児計画策定事業

課・室名：　介護福祉課　担当氏名：　中尾　成真　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

障害者基本法第11条、障害者総合支援法第88条、児童福祉法第33条の20の規定に基づき、地域での支援体制を整える計画策定事業。

【本年度事業の概要】

障害施策の総合的な指針である障害者基本計画については第3次（計画期間6年）、成人向け障害福祉サービスの必要量の見込み及び整備目標を定める障害者福祉計画は第8期（計画期間3年）、同様に18歳未満の児童を対象とした障害児計画については第4期（計画期間3年）の策定となる。

・前計画の進捗状況などについて把握、分析を行い、障害福祉サービス等の具体的な数値目標を設定する。

・国の基本方針や町総合計画等関連する計画とも連動して、障害福祉サービス等の提供に関する具体的な体制づくりやサービスを確保するための方策を示す。

《業務委託の内容》

①計画策定に向け策定委員会開催・運営進行管理（4回程度）

②住民アンケート等による現状把握・動向把握等の調査・分析
（手帳取得者190件程度）

③骨子案の作成、目標値の設定

④計画素案作成　A4判、1色、90項、70冊

⑤概要版の作成　A4判、カラー、8項、100冊

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
1,760	5,060	0	6,820

予算要求の内容

事業費	5,060 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	5,060 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	障害者基本計画・障害者福祉計画・障害児計画策定業務委託料	5,060
	合計	5,060

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
	合計	0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	1,760 千円
特定財源	千円
一般財源	1,760 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	3	項	1	目	3	目名	高齢者福祉費

事業名：　外出支援助成券交付事業　　課・室名：　介護福祉課　担当氏名：　森脇智恵　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】
高齢者や障害のある方々の外出の機会を創出し活気ある日常生活の営みにつなげることを目的とし、タクシー等公共交通の利用に使える助成券を発行する。

一人ひとりが耀き支え合う活力あるまちづくり
平成29年度からの継続事業

【本年度事業の概要】
昨年度の実施方法を継続して実施。
〇事業対象者（4月1日現在）…481人（前年度比50人減）
・満80歳以上（施設入所者除く）の高齢者…436人（前年度比29人減）
・重度障害者（身体障害者手帳・精神保健福祉手帳1・2級、療育手帳A1・A2を有する方）…35人（前年度比13人減）
・満80歳未満で運転免許証返納または医師の診断により運転自粛者…10人

〇助成金　対象者一人当たり18,000円
18,000円×481人×0.6＝5,195,000円（前年度比454千円減額）

＊過年度利用の実績から利用・換金率を60%と見込む。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
6,208	5,719	5,719	17,646

予算要求の内容

事業費	5,719 千円	財源内訳			
特定財源	3,000 千円	国庫		起債	
一般財源	2,719 千円	県費		その他	3,000

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	助成券印刷費	235
11	助成券郵送料	289
18	外出支援助成金	5,195
	合計	5,719

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
22	外出支援助成券交付事業債	3,000
	合計	3,000

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	4,662 千円
特定財源	2,000 千円
一般財源	2,662 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	4,945 千円
特定財源	2,000 千円
一般財源	2,945 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	6,208 千円
特定財源	2,000 千円
一般財源	4,208 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	3	項	2	目	1	目名	児童福祉総務費

事業名：　こども医療費助成事業

課・室名：　住民健康課　担当氏名：　岡本　哲明　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

健やかで明るく活き活き心豊かに暮らせるように子育て家庭への支援の一つで、医療にかかる健康保険自己負担を全額助成することで児童の環境と保険の向上に寄与する。

【本年度事業の概要】

郵送料→見込みから算定　17千円

こども医療費審査支払業務委託料→直近3ヵ年の医療費実績（R5～R7）の平均
令和6年度をピークに減少傾向
　120千円

こども医療扶助費
小学校入学から18歳に達する日以降の最初の3月31日までを助成
直近3ヵ年の医療費実績（R5～R7）の平均から算定
令和6年度をピークに減少傾向
4,735千円
対象者数：171人
前年度予算に比べ入院患者の減少等で事業費494千円の減額を見込む。

全体計画等

継続してこども医療の医療扶助を実施。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
5,366	4,871	4,900	15,137

予算要求の内容

事業費	4,872 千円	財源内訳			
特定財源	2,000 千円	国庫		起債	2,000
一般財源	2,872 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
11	郵送料	17
12	こども医療審査支払業務委託料	120
19	こども医療費扶助費	4,735
	合計	4,872

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
22	こども医療費助成事業債	2,000
	合計	2,000

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	3,742 千円
特定財源	3,000 千円
一般財源	742 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	5,751 千円
特定財源	2,000 千円
一般財源	3,751 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	5,366 千円
特定財源	2,000 千円
一般財源	3,366 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	3	項	2	目	5	目名	こども園費

事業名：　認定こども園運営事業

課・室名：　介護福祉課　担当氏名：　中尾　成真　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

町立の認定こども園・又は委託保育により、保育・幼児教育・集団活動・異年齢交流等の機会を提供することにより健やかな就学前児童の育ちを支援する。

【本年度事業の概要】

・高野山こども園運営において、保育と幼児教育を一体的に提供すると共に地域の子育て支援拠点の役割を担う。また、養育者の勤務地等の事情により町外での保育を希望される家庭に対し、広域委託制度により継続して保育が受けられる体制を整える。
・令和8年度より、子ども・子育て支援法に基づく新たな事業『乳児等通園支援事業』通称『だれでも通園制度』を高野山こども園に導入し、保育所部門において、養育者の就労・疾病等の利用要件に関わらず一定時間、児童を預かる。
●高野山こども園の運営を指定管理制度で実施
　指定管理期間：令和7年4月1日～令和12年3月31日
　指定管理者：学校法人高野山学園
　10月時点在園児童数：38名　　令和8年度在園児童数（見込）：28名
●町外保育継続利用希望（委託先：かつらぎ町）　利用児童数：2名
　町外保育所委託料、広域保育給食費負担金（給食費）
●園児送迎業務（園バスのルート外地域からの通園支援）　1地区1名
　委託料、公用車リース料

全体計画等

地域の子育て支援拠点を目指し、保育・子育て支援施策の推進を図る。
基本は町内のこども園の利用促進をするが、家庭の事情により町外保育を希望されるご家庭には、継続して保育を受ける体制を整える。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
88,596	87,724	87,000	263,320

予算要求の内容

事業費	87,724 千円	財源内訳				
特定財源	75,530 千円	国庫	297	起債		
一般財源	12,194 千円	県費	230	その他	75,003	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	消耗品費	20
10	光熱水費	2,246
11	児童学校安全保険料	15
12	指定管理料	80,000
12	町外保育所委託料	2,098
12	園児送迎業務委託料	2,880
13	AEDリース料	40
13	公用車リース料	352
18	広域保育給食費負担金	73
	合計	87,724

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
13	早朝・延長保育負担金	3
15	子ども・子育て支援交付金（乳児等通園支援事業）	297
16	子ども・子育て支援補助金（乳児等通園支援事業）	49
16	第2子以降保育料補助金	181
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	75,000
	合計	75,530

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	77,043 千円
特定財源	1,659 千円
一般財源	75,384 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	77,189 千円
特定財源	229 千円
一般財源	76,960 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	88,596 千円
特定財源	216 千円
一般財源	88,380 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	3	項	2	目	6	目名	子育て支援事業費

事業名：　子育て支援センター運営事業

課・室名：　介護福祉課　担当氏名：　中尾　成真　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

地域の子育て家庭が安心して子育てができるよう、相談支援・交流の場・情報提供を行う地域拠点として子育て支援センターを運営する。

【本年度事業の概要】

●子育て支援センターの運営を令和5年度から指定管理制度で実施
　指定管理期間：令和7年4月1日～令和12年3月31日）

●一時預かり事業
高野町一時預かり事業実施要綱就に基づき事業実施
保護者の方の病気や事故、育児に伴う心理的・肉体的な負担を解消する等、一時的に家庭での保育が困難となった場合の支援。

【子育て支援センター事業内容】
1．子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
2．子育て等に関する相談、援助の実施
3．地域の子育て関連情報の提供
4．子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

全体計画等

令和7年4月1日から令和12年3月31日の指定管理期間でこども園及び子育て支援センター管理運営事業を開始。（5年間の債務負担行為）。地域の子育て支援拠点を目指し、保育・子育て支援施策の推進を図る。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
11,547	11,467	11,467	34,481

予算要求の内容

事業費	11,467 千円	財源内訳			
特定財源	10,642 千円	国庫	3,821	起債	
一般財源	825 千円	県費	3,821	その他	3,000

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	子育て支援センター指定管理料	11,467
	合計	11,467

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
15	子ども・子育て支援交付金（地域子育て支援拠点事業）	3,007
15	子ども・子育て支援交付金（一時預かり事業）	814
16	子ども・子育て支援補助金（地域子育て支援拠点事業）	3,007
16	子ども・子育て支援補助金（一時預かり事業）	814
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	3,000
	合計	10,642

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	10,900 千円
特定財源	7,264 千円
一般財源	3,636 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	10,900 千円
特定財源	7,264 千円
一般財源	3,636 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	11,547 千円
特定財源	7,698 千円
一般財源	3,849 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	3	項	2	目	6	目名	子育て支援事業費

事業名：　地域子育てサポート事業

課・室名：　介護福祉課　担当氏名：　中尾　成真　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】
育児不安などについての相談支援を行う他、交流の場として小学校就学前までの子どもの育児を支援する地域団体の活動を支援する。

【本年度事業の概要】
くらしの助け合い「ちっちらこ」の活動
●一時預かり事業…富貴小学校の一室を拠点に活動
育児援助を受けたい者、支援したい者を組織化し、育児を介した相互援助活動の取組みを行う。　対象児童1名

●移住促進事業
町外の子育て世帯を対象に、富貴地区の子育て環境の魅力を広く発信し、移住者獲得に努める。

全体計画等
地域資源を活用し、富貴・筒香地域の魅力を通した親子関係の構築や子どもとのかかわり方を支援する。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
3,053	3,000	3,000	9,053

予算要求の内容

事業費	3,000 千円	財源内訳			
特定財源	2,000 千円	国庫		起債	2,000
一般財源	1,000 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
18	子育て支援サポーター事業補助金	3,000
	合計	3,000

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
22	地域子育てサポート事業債	2,000
	合計	2,000

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	3,298 千円
特定財源	2,000 千円
一般財源	1,298 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	2,874 千円
特定財源	2,000 千円
一般財源	874 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	3,053 千円
特定財源	2,000 千円
一般財源	1,053 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	3	項	2	目	7	目名	学童保育費

事業名：　学童保育所運営事業　　課・室名：　教育委員会　担当氏名：　中川良衣　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

共働きやひとり親家庭の児童を放課後や長期学校休日に保護者にかわって保育するため、学童保育所を設置・運営する。

【本年度事業の概要】

事業者との令和5年度から令和7年度までの3年間の業務委託契約が終了。
新たに令和8年度から令和10年度までの3年間、事業者と業務委託契約を締結予定。（事業者選定はプロポーザル方式）
令和8年度から令和10年度（11,280,000円×3年間）

事業者に業務委託することで、指導員の確保とともに指導内容が向上し、安定した学童保育所の運営が可能となった。
利用者上限人数　39名　　令和7年度の利用登録者数　31名
開所予定日数（日、祝、年末年始を除く期間）

全体計画等

令和5年度から令和7年度まで、事業者に業務委託。
令和7年度から令和10年度まで、事業者に業務委託。（予定）

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
29,803	11,280	22,560	63,643

予算要求の内容

事業費	11,280 千円	財源内訳			
特定財源	10,754 千円	国庫	1,727	起債	
一般財源	526 千円	県費	1,727	その他	7,300

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	学童保育所委託料	11,280
	合計	11,280

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
13	学童保育負担金	800
15	放課後児童健全育成事業補助金（国）	1,727
16	放課後児童健全育成事業補助金（県）	1,727
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	6,500
	合計	10,754

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	10,003 千円
特定財源	4,109 千円
一般財源	5,894 千円

特記事項
放課後児童健全育成事業補助金（国）
1,727,000円
放課後児童健全育成事業補助金（県）
1,727,000円
学童保育負担金　655,000円

事業費	9,900 千円
特定財源	5,611 千円
一般財源	4,289 千円

特記事項
放課後児童健全育成事業補助金（国）
2,383,000円
放課後児童健全育成事業補助金（県）
2,383,000円
学童保育負担金　845,000円

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	9,900 千円
特定財源	4,210 千円
一般財源	5,690 千円

特記事項
放課後児童健全育成事業補助金（国）
1,727,000円
放課後児童健全育成事業補助金（県）
1,727,000円
学童保育負担金　756,000円

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	4	項	1	目	2	目名	予防費

事業名：　がん検診事業

課・室名：　住民健康課　担当氏名：奥村　富美子　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

がん検診を推進し、がん等の早期発見、早期治療により町民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

【本年度事業の概要】

令和7年度までの予算を見直し、令和8年度は令和4年度・5年度・6度年の3年の平均値を出し、平均値で計上しているため令和7年度より減額となった。

各種がん検診（肺・胃・大腸・子宮・乳・前立腺がん（集団のみ））を集団健診、個別健診で実施。

・集団健診　年間4回実施
　高野山地区　春1回　秋2回　　富貴地区　秋1回
・個別健診　毎年4月1日～翌年2月末日まで
・がん検診対象者数　●肺・胃・大腸・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん
　（40歳～69歳）980人
　（70歳～）1050人
　●乳がん・子宮頸がん
　（30歳～39歳）137人

全体計画等

引き続き健診受診率向上に向けて勧奨を行う。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
7,219	6,486	6,486	20,191

予算要求の内容

事業費	6,482 千円	財源内訳			
特定財源	369 千円	国庫	64	起債	
一般財源	6,113 千円	県費	270	その他	35

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	消耗品費	5
	食糧費	9
	印刷製本費	389
11	郵送料	465
12	胃がん検診委託料	2,293
	肺がん検診委託料	1,168
	大腸がん検診委託料	544
	子宮がん検診委託料	883
	乳がん検診委託料	627
	前立腺がん検診委託料	99
	合計	6,482

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
15	がん検診推進事業補助金	64
16	がん検診推進事業補助金	270
21	がん検診負担金	35
	合計	369

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	6,831 千円
特定財源	660 千円
一般財源	6,171 千円

特記事項

令和6度決算

事業費	6,035 千円
特定財源	711 千円
一般財源	5,324 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	7,219 千円
特定財源	219 千円
一般財源	7,000 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	4	項	1	目	2	目名	予防費

事業名：　動脈硬化健診事業

課・室名：　住民健康課　担当氏名：奥村　富美子　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

健康長寿のまちをめざし、町民の健康づくりの指針・行動計画となる健康づくり計画に基づいて健康寿命の延伸につなげるべく町民の健康増進を図るため動脈硬化健診を実施し疾病予防に繋げる事業。

【本年度事業の概要】

・令和5年度に、動脈硬化健診対象者を若年層（30歳～39歳）に拡大したが、令和5年度・令和6年度の若年層の申し込みが少なかったため、令和8年度は若年層を含め40歳以降（本来の対象年齢）の受診勧奨を積極的に行い、受診の習慣化に繋げる。

全体計画等

特定健診と同様に受診勧奨を行っていく。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
300	2,760	300	3,360

予算要求の内容

事業費	2,760 千円	財源内訳			
特定財源	1,466 千円	国庫		起債	
一般財源	1,294 千円	県費	363	その他	1,103

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
3	イベント時間外勤務手当	400
10	消耗品費	5
	食糧費	55
12	生活習慣病予防検診委託料	45
	動脈硬化検診委託料	2,255
合計		2,760

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
16	健康増進事業費補助金	363
21	動脈硬化検診負担金	103
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	1,000
合計		1,466

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	2,314 千円
特定財源	145 千円
一般財源	2,169 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	1,640 千円
特定財源	143 千円
一般財源	1,497 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	300 千円
特定財源	0 千円
一般財源	300 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	4	項	1	目	2	目名	予防費

事業名：　予防接種事業

課・室名：　住民健康課　担当氏名：奥村　富美子　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

予防接種法で決められている定期予防接種及び集団感染や母子の安全確保のための接種についての予防効果が期待される成人の予防接種を行い免疫力を備えて感染症の流行を抑える。また重症化を防ぐ事業。

【本年度事業の概要】

国の指針に基づき予防接種を実施し、予防接種費用の一部を助成する。
〇子宮頸がんワクチンの接種を逃した方（H9.4.2～H20.4.1生）のための接種（キャッチアップ接種）が令和8年3月31日で終了することにより、対象者が定期接種の小学校6年～高校1年生相当になり、予算が減少となる。
〇新型コロナウイルスワクチンの接種予定人数を令和7年度は150人としていたが、令和6年度の接種人数が104人、自己負担金が3,000円→5,000円になっていることをふまえ、令和8年度は110人で予算を計上しているので令和7年度より減少している。

全体計画等

継続して助成を実施していく。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
13,011	10,964	10,964	34,939

予算要求の内容

事業費	11,200 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	11,200 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
1	予防接種健康被害調査委員報酬	90
8	普通旅費	13
10	消耗品費	8
	印刷製本費	36
11	郵送料	55
12	予防接種委託料	2,589
	インフルエンザ予防接種委託料	3,433
	高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種委託料	129
	システム改修委託料	95
	新型コロナウイルスワクチン予防接種委託料	1,370
	帯状疱疹ワクチン予防接種委託料	2,549
18	季節性インフルエンザ予防接種事業給付金	45
	子どもインフルエンザ予防接種助成事業給付金	180
	新型コロナウイルスワクチン予防接種事業給付金	108
	帯状疱疹ワクチン予防接種事業給付金	500
合計		11,200

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
合計		0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	5,997 千円
特定財源	42 千円
一般財源	5,955 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	10,197 千円
特定財源	1,343 千円
一般財源	8,854 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	13,011 千円
特定財源	0 千円
一般財源	13,011 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	新規

款	4	項	2	目	1	目名	環境衛生費

事業名：　太陽光発電設備・蓄電池導入支援事業

課・室名：　生活環境課　担当氏名：　矢野　隆　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化の促進により本町における脱炭素化を図る

【本年度事業の概要】

太陽光発電設備等を設置した者に対し、予算の範囲内において、導入支援補助金を交付する

「補助対象者(個人向け)」
・太陽光発電設備（自家消費型）：自ら所有し居住する町内の戸建ての専用住宅に太陽光発電設備を設置する者
・蓄電池：住宅に蓄電池を設置する者
「補助額」
・太陽光発電設備（自家消費型）：算式により上限350,000円
・蓄電池：算式により上限470,000円
「予定申請件数」
・各4件

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
	3,280	3,280	6,560

予算要求の内容

事業費	3,280 千円	財源内訳			
特定財源	3,280 千円	国庫		起債	
一般財源	0 千円	県費	3,280	その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
18	太陽光発電設備・蓄電池導入支援事業補助金	3,280
合計		3,280

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
16	太陽光発電設備・蓄電池導入支援事業補助金	3,280
合計		3,280

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	4	項	3	目	2	目名	塵芥処理費

事業名：　一般廃棄物収集運搬事業

課・室名：　生活環境課　担当氏名：　矢野　隆　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

一般家庭から排出されるごみの分別収集の実施、住民啓発、一般廃棄物の資源化及び適正処理の推進に係る経費

【本年度事業の概要】

一般廃棄物を効率的に処理するため、一般家庭ごみの収集を行い、橋本周辺広域ごみ処理場（エコライフ紀北）に搬入します

各家庭からの排出される一般廃棄物の収集を適正に行うことにより、ごみの減量化・再資源化を図ります

・委託先　3事業者

全体計画等

令和9年度見直し（前回10%増額）

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
58,361	58,306	64,500	181,167

予算要求の内容

事業費	58,306 千円	財源内訳			
特定財源	1,701 千円	国庫		起債	
一般財源	56,605 千円	県費		その他	1,701

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	塵芥収集運搬委託料	58,306
合計		58,306

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
14	塵芥処理手数料（指定ごみ袋）	963
	塵芥処理手数料（指定シール）	738
合計		1,701

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	58,083 千円
特定財源	2,284 千円
一般財源	55,799 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	58,083 千円
特定財源	1,887 千円
一般財源	56,196 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	58,361 千円
特定財源	2,098 千円
一般財源	56,263 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	4	項	4	目	1	目名	上水道施設費

事業名：　飲料水供給施設等管理事業　　課・室名：　　担当氏名：　下名迫　明　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

神谷簡易給水施設及び上中筒香飲料水供給施設の維持管理に係る経費

【本年度事業の概要】

飲料水供給施設維持管理

・神谷簡易給水施設

維持管理費　　2，682千円

主な改良費

〇透過水逆洗ポンプの修繕

SDCステンレス製渦巻ポンプ　70千円

〇施設制御装置修繕

シーケーンサー（PLC）修繕　363千円

シャッター修繕　1,100千円

〇除湿器の備品購入

除湿器コンプレッサー　一式　65千円

・上筒香・中筒香地区飲料水供給施設

維持管理費　　1，520千円

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
2,625	4,202	4,500	11,327

予算要求の内容

事業費	4,202 千円	財源内訳			
特定財源	819 千円	国庫		起債	
一般財源	3,383 千円	県費		その他	819

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	消耗品費	428
	光熱水費	552
	修繕料	1,973
	薬品費	170
11	電信料	278
12	水質検査委託料	630
13	神谷配水地借地料	1
	筒香地区上水道配水地土地使用料	50
15	直営工事原材料費	55
17	除湿器購入費	65
	合計	4,202

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
14	神谷水道施設使用料	219
14	筒香水道施設使用料	600
	合計	819

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	65,450 千円
特定財源	56,596 千円
一般財源	8,854 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	1,862 千円
特定財源	769 千円
一般財源	1,093 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	2,625 千円
特定財源	819 千円
一般財源	1,806 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	新規

款	5	項	1	目	4	目名	鳥獣対策費

事業名：　ツキノワグマ被害防止緊急対策事業

課・室名：　観光振興課　担当氏名：　松本　斉　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

ツキノワグマによる人身被害を未然に防止し、町民の安全確保の体制を構築するため、鳥獣保護管理法改正により創設された緊急銃猟制度等に係る取り組みを支援する事業。

【本年度事業の概要】

捕獲活動実施隊員の報酬。
ツキノワグマ捕獲檻設置等に伴う現場消耗品。
ツキノワグマ個体処理委託業務。
緊急銃猟及びクマ有害捕獲檻等の設置のための経費の計上。

指定管理鳥獣対策事業交付金
国補助率 1/2　県補助率 1/4　　町負担率 1/4

全体計画等

令和9年度以降も継続。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
1,000	1,276	1,276	3,552

予算要求の内容

事業費	1,309 千円	財源内訳			
特定財源	981 千円	国庫		起債	
一般財源	328 千円	県費	981	その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
1	高野町鳥獣被害対策実施隊報酬	560
10	消耗品費	100
	燃料費	33
12	ツキノワグマ有害捕獲個体処理業務委託料	616
合計		1,309

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
16	指定管理鳥獣対策事業交付金	981
合計		981

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	0 千円
特定財源	0 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	0 千円
特定財源	0 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	1,000 千円
特定財源	千円
一般財源	1,000 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	5	項	2	目	2	目名	林業振興費

事業名：　木育推進事業　【森林環境譲与税活用事業】

課・室名：　観光振興課　担当氏名：　西山久雄　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

3年間の中学校生活において「地元木材」を用いて自ら組み立てた机を利用すること、木材の成り立ちや木の特徴を学ぶ「木育」を通じて、生徒のふるさとへの愛着や地域材とのつながりを育む。

あわせて、地元の森林組合や大工等に作業を発注することで、高野町内の林業の活性化や高野町産材の利用促進を促す。

【本年度事業の概要】

中学校新1年生を対象に「木育」の授業を行い、高野産材を使用した机の天板及び物入れを生徒自ら組み立てる。

組み立てた天板、物入れは、中学校3年間使用する。

（対象者：20名）

全体計画等

開催スケジュール

R8.4：地元木材活用事業（机の組み立て）

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
7,327	1,199	1,199	9,725

予算要求の内容

事業費	1,199 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	1,199 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	消耗品費	131
12	地元木材活用業務委託料	1,068
合計		1,199

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
合計		0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	2,936 千円
特定財源	千円
一般財源	2,936 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	2,818 千円
特定財源	千円
一般財源	2,818 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	1,573 千円
特定財源	千円
一般財源	1,573 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	6	項	1	目	3	目名	観光費

事業名：　駐車場管理運営事業

課・室名：　観光振興課　担当氏名：　吉田　洸祥　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

高野山内の駐車場（本山前第一駐車場、第二駐車場、大学、小学校、中の橋駐車場）において、利便性向上及び利用者の安全を確保する観点から警備員を配置し、全国から多くの参拝観光客の入込が予想され、交通混乱を回避するためにも、金剛峯寺及び受託者と緊密な連携を図り、高野山の満足度向上に繋げる。また、近年、冬期のスキー場利用が多く、警備員を配置し誘導等を行わないと、周辺の路上駐車が増加するなど周辺住民からの苦情につながる恐れがあるため、冬期スキー場の利用者が多いと見込まれる日には警備員を配置する。

【本年度事業の概要】

最近では団体客が多く、大型観光バスが本山前駐車場に多く駐車し混雑している。それに係る交通混乱の回避や利用者の安全を確保するためにも、金剛峯寺及び受託者と緊密な連携を図り、高野山の満足度向上に繋げる。

各種システムおよびデータ関連費用については、高野町HPに表示されている山内駐車場の混雑状況の表示に必要なデータ等を収集するための経費および関連システム保守費用となっている。

各駐車場における繁忙期の警備を実施する。また、町HPで公表している山内渋滞情報等システムにおけるランニングコスト分。
※警備関連費用については金剛峯寺と折半。

全体計画等

警備員を配置し、交通渋滞緩和並びに利用者の安全を確保する。
優先は歩行者や駐車場利用者であり、安全を第一に年間の警備員配置を見直し、金剛峯寺と協議を行う。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
31,994	33,378	33,378	98,750

予算要求の内容

事業費	33,128 千円	財源内訳			
特定財源	26,771 千円	国庫		起債	12,000
一般財源	6,357 千円	県費		その他	14,771

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
11	道路カメラ取得データ利用料	111
	駐車場警備手数料	29,543
12	渋滞対策システム保守業務委託料	792
13	駐車場データ利用料	2,554
	渋滞対策データ回線使用料	128
	合計	33,128

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
13	金剛峯寺臨時駐車場警備員負担金	14,771
22	駐車場管理運営事業債	12,000
	合計	26,771

予算決算の推移

令和5年度**決算**

事業費	22,975 千円
特定財源	11,389 千円
一般財源	11,586 千円

特記事項
・金剛峯寺負担　11,488千円
・過疎債ソフト　11,488千円

令和6年度**決算**

事業費	24,352 千円
特定財源	21,176 千円
一般財源	3,176 千円

特記事項
・金剛峯寺負担　12,176千円
・過疎債ソフト　9,000千円

令和7年度**予算（直近の補正迄）**

事業費	31,994 千円
特定財源	24,007 千円
一般財源	7,987 千円

特記事項
・金剛峯寺負担　15,007千円
・過疎債ソフト　9,000千円

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	6	項	1	目	3	目名	観光費

事業名：　公衆便所管理運営事業

課・室名：　観光振興課　担当氏名：　吉田　洸祥　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

公衆トイレの清掃及び衛生管理として、22か所のトイレを清掃（山内17箇所においては毎日清掃）させ、安心・安全に利用できる状態を維持する。
また、苦情等にも対応できる連絡体制を整備させ、受託者と委託者との協働により、参拝観光客の満足度向上を図る。

【本年度事業の概要】

おもてなし度向上のため、これまで維持していたトイレのきれいな高野山を堅持する。
●山内トイレ（金剛峯寺と折半分）
女人堂、中の橋（立体駐車場内）、中の橋（バス停付近）、一の橋、苅萱堂横、千手院（消防署横）、金剛峯寺前、根本大塔北、中門前、大門児童公園、大門、大門南駐車場、金剛峯寺前第二駐車場、高野山観光情報センター、奥之院水向け地蔵奥、奥之院茶処横、英霊電横

●金剛峯寺折半以外分
富貴公衆トイレ、神谷公衆トイレ

◎トイレットペーパー1箱単価約300円アップ

全体計画等

継続的な公衆トイレの清掃管理を委託

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
35,714	36,609	36,609	108,932

予算要求の内容

事業費	36,496 千円	財源内訳			
特定財源	25,722 千円	国庫		起債	8,600
一般財源	10,774 千円	県費		その他	17,122

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	消耗品費	3,138
	光熱水費	7,330
	修繕料	2,000
11	浄化槽清掃点検手数料	448
	開閉栓手数料	6
12	公衆便所管理委託料	23,574
	合計	36,496

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
13	観光施設管理金剛峯寺負担金	17,113
21	太陽光発電受給電力量料金	9
22	公衆便所管理運営事業	8,600
	合計	25,722

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	23,814 千円
特定財源	14,859 千円
一般財源	8,955 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	32,000 千円
特定財源	14,907 千円
一般財源	17,093 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	35,714 千円
特定財源	15,226 千円
一般財源	20,488 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	7	項	2	目	1	目名	道路橋梁維持費

事業名：　町道除雪融雪管理事業　　課・室名：　建設課　　担当氏名：　井手上　哲也　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

降雪による町道の積雪を重機により除雪運搬、融雪剤の散布を実施し、歩行者の転倒事故の防止、通行車両のスリップ事故の防止、積雪による通行不能を事前に防ぐ事を目的とする。

【本年度事業の概要】

町道の除雪・融雪事業について、天候に左右されるところが大きく例年並みとし、融雪剤購入費については近年購入の平均値を算出した。

【継続】 除雪融雪監理委託料　220千円
（各業者の監督管理を行う）
【継続】 除雪・融雪委託費　18,500千円
（例年並みの予算計上）
【継続】 廃棄物処理委託料　200千円
（融雪剤の空袋廃棄処分費）
【継続】 融雪剤購入費　4,500袋購入予定　9,801千円
（過去の融雪剤購入数を平均）
・融雪剤単価について、令和7年度は2,178円/袋（税込み）であり、
昨年度より1袋あたり11円の増

全体計画等

除雪・融雪に関しては、天候に影響を受ける部分が多いが、例年並みの除雪・融雪費とし18,500千円、融雪剤9,801千円（4500袋）必要と考える。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	28,721 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	28,721 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	除雪融雪監理委託料	220
12	除雪融雪委託料	18,500
12	廃棄物処理委託料	200
15	融雪剤	9,801
合計		28,721

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
合計		0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	24,271 千円
特定財源	0 千円
一般財源	24,271 千円

特記事項
除雪融雪管理　220千円
除雪融雪委託　18,001千円
廃棄物処理委託　74千円
融雪剤　5,976千円

令和6年度決算

事業費	53,267 千円
特定財源	0 千円
一般財源	53,267 千円

特記事項
除雪融雪管理　220千円
除雪融雪委託　37,061千円
廃棄物処理委託　37千円
融雪剤　15,950千円

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	28,672 千円
特定財源	0 千円
一般財源	28,672 千円

特記事項
除雪管理　220千円
委託料　18,500千円
廃棄物処理委託　200千円
融雪剤　9,752千円

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	7	項	4	目	1	目名	都市計画総務費

事業名：　立地適正化計画策定事業　　課・室名：　建設課　　担当氏名：　井手上　哲也　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的な基本計画の策定

人口、土地利用や交通の現状及び将来の見通しを勘案しながら、都市計画区域の中でも特に居住を誘導して人口密度を一定以上に維持する居住誘導区域と都市機能を誘導を図る都市機能誘導区域を設定するとともに、その誘導のために講ずべき施策等を定める。

【本年度事業の概要】

立地適正化計画を策定するにあたり、誘導施策の検討、目標値の設定、施策の達成状況に関する評価方法の検討などを行うもの

R6～R8　債務負担行為設定（3年目　9,000千円）

【参考】社会資本整備総合交付金・防災安全交付金の配分と立地適正化計画の連携について

立地適正化計画を作成・公表しておらず具体的な取組を開始・公表もしていない市町村が交付対象である要素事業は重点配分を行わない。令和7年度から原則すべての基幹事業が重点配分対象外となる。

立地適正化計画の策定に着手しないと、現在実施している下水道事業、今後整備予定の金剛峯寺前公園整備に影響が生じる。

全体計画等

計画策定期間（R6～R8）　計画公表（R9）

R6：　関連する計画の整理や都市構造上の課題分析など

R7：　まちづくりの方針や目指すべき都市の骨格構造等の検討

R8：　誘導施策の検討や計画書の作成など

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	9,000 千円	財源内訳			
特定財源	4,500 千円	国庫	4,500	起債	
一般財源	4,500 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	立地適正化計画策定業務	9,000
	合計	9,000

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
15	集約都市形成支援事業費補助金	4,500
	合計	4,500

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	8,000 千円	繰越
特定財源	5,500 千円	
一般財源	2,500 千円	

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	8,000 千円
特定財源	5,069 千円
一般財源	2,931 千円

特記事項

立地適正化計画策定業務　8,000千円

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	7	項	4	目	4	目名	都市環境整備事業費

事業名：　美しい町並み景観整備事業　　課・室名：　建設課　　担当氏名：　岡本　多賀子　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

平成18年10月に高野町環境維持基金が創設され、その基金を活用し修景事業を実施してきた。平成20年には景観行政団体になり、景観条例に基づき、町民の理解を得ながら、修景の維持向上に努めてきました。
町民、審議委員や地元建築業者に協力を得ながら、高野山らしい町なみ景観の保全、向上を目指す。

【本年度事業の概要】

修景整備費
　一部修景　1件　1,000千円、工作物　500千円×2件＝1,000千円を予定
　社会資本整備総合交付金、環境維持基金を充当

全体計画等

令和6年度から社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）の交付対象事業とし、R6～R10年度の計画とする。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
6,100	2,000	4,000	12,100

予算要求の内容

事業費	2,000 千円	財源内訳			
特定財源	2,000 千円	国庫	1,000	起債	
一般財源	0 千円	県費		その他	1,000

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
18	修景整備補助金	2,000
	合計	2,000

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
15	街なみ環境整備事業交付金	1,000
19	環境維持基金繰入金	1,000
	合計	2,000

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	1,600 千円
特定財源	1,600 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6度決算

事業費	1,500 千円
特定財源	1,500 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	2,000 千円
特定財源	2,000 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	8	項	1	目	1	目名	常備消防費

事業名：　消防職員教育事業

課・室名：　消防本部・署　担当氏名：　森本　健志　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

消防職員が消防学校等でおこなわれる専門教育を受けるために必要な経費。
職員の技術と能力向上を図り、小規模消防であっても本邦の水準に劣ることのない消防力の維持を保持することを目的とする。
消防職員としての専門教育を受けるため、消防学校に入校させる。
現職員から救急救命士や予防技術検定の資格を取得させる。
民間教育団体が企画する少人数制の特殊専門教育を履修し、当町にマッチした技術と知識を身に着けさせる。

【本年度事業の概要】

■消防長会が企画する研究会、学術団体が開催する学会やシンポジウムに参加して知見を広める。
■和歌山県消防学校で行われる7つの専門教育（初任教育　152日間　4名、特殊災害科　9日間　2名、救急科　46日間　4名、警防科　24日間　2名、自然災害対応教育　9日間　2名、救急隊長教育　2日間　1名、通信指令教育　3日間　1名）に延べ16名入校させる。
■救急救命士に必須とされる救命センターでの病院実習（新人教育　20日間　2名、現職教育　3日間　8名）や特定行為（気管挿管実習　約1ヶ月）の認定資格を取得する。
■予防業務に従事するための専門知識を担保する予防技術検定試験を受験する。
■消火戦術や特殊な疾病対応における特殊教育を履修させる。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
12,818	3,829	3,300	19,947

予算要求の内容

事業費	3,829 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	3,829 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
8	普通旅費	356
	研修旅費	729
11	予防技術検定受験料	35
	救急救命士国家試験料	32
12	救命士関係委託料	92
18	研修会負担金	271
	消防学校入校負担金	2,314
合計		3,829

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
合計		0

予算決算の推移

令和5年度**決算**

事業費	3,315 千円
特定財源	千円
一般財源	3,315 千円

特記事項

令和6年度**決算**

事業費	6,584 千円
特定財源	千円
一般財源	6,584 千円

特記事項

令和7年度**予算（直近の補正迄）**

事業費	2,919 千円
特定財源	千円
一般財源	2,919 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	8	項	1	目	2	目名	非常備消防費

事業名：　消防団運営事業

課・室名：　消防本部・署　担当氏名：　森本　健志　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

消防団の運営事業費。地域に密着し、災害対応だけでなく備えから復興までを支える。町内3個分団、定数は230名（機能別団員30名含）。

【本年度事業の概要】

■国が示す基準額を上回る額の報酬を団員個々に支給する。
■消防団の運営に使途するため、規則に定める算出方法により交付金を支給する。
■団員の知識と技術の向上のため、教育や研修の機会があれば積極的に参加者を募り受講してもらえるようにする。
■装備品や燃料代を支給する。
■公務災害補償金や退団報償金を支弁する。
■新入団員の見込み者数を8人に設定し団員確保に努める。

全体計画等

消防団員数を確保するとともに、災害活動に必要な装備等を充実させ、地域防災力を向上させる。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
85,180	30,022	27,000	142,202

予算要求の内容

事業費	30,022 千円	財源内訳			
特定財源	4,022 千円	国庫		起債	
一般財源	26,000 千円	県費		その他	4,022

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
1	団長報酬、他7階級の報酬	8,639
	出動報酬	5,508
5	消防団員公務災害補償費	10
7	退団報償金、他2	4,018
8	費用弁償	1,202
9	消防交際費	145
10	消耗品費	295
	燃料費 他5	1,423
11	代書筆耕料	15
13	テレビ受信料	13
	バス借上料	350
17	消防用ホース購入費	199
18	消防学校入校負担金	35
	消防団員等公務災害補償基金掛金	4,864
	消防団運営交付金	1,955
	消防団員等福祉共済掛金、他5	1,351
合計		30,022

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
21	消防団員退職報償金	3,858
	消防団員公務災害補償費	10
	消防団員福祉共済金	100
	消防団員福祉共済事務費	54
合計		4,022

予算決算の推移

令和5年度**決算**

事業費	22,097 千円
特定財源	2,696 千円
一般財源	19,401 千円

特記事項

令和6年度**決算**

事業費	31,866 千円
特定財源	4,831 千円
一般財源	27,035 千円

特記事項

令和7年度**予算（直近の補正迄）**

事業費	31,217 千円
特定財源	3,614 千円
一般財源	27,603 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	新規

款	8	項	1	目	3	目名	消防施設費

事業名：　消防団装備整備事業

課・室名：　消防本部・署　担当氏名：　森本　健志　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

消防団活動に係る資機材等の整備に必要な経費
山林火災に対処するため消防団各部に可搬式送水装置と小型ポンプを配備し、山林斜面などでも迅速かつ有効な初期消火活動ができるよう備えている。
第2分団1部2班（西細川）配備の可搬式送水装置は31年が経過、第2分団1部1班（東細川）に配備した小型ポンプが搬送時の落下が原因で修理不可能な故障に見舞われた。旧式の小型ポンプで運用している。どちらも早急に消防活動が適切に行えるよう消防力を維持していく必要がある。

【本年度事業の概要】

■第2分団1部2班の可搬式送水装置の更新
　可搬式送水装置（フォレスター　TH-451W）1台　1,161,600円

■第2分団1部1班（東細川）小型ポンプ軽積載車に搭載する小型ポンプの更新
　可搬消防ポンプ（B3級 VF53BS）1台　2,178,000円

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
0	3,340	4,356	7,696

予算要求の内容

事業費	3,340 千円	財源内訳			
特定財源	3,200 千円	国庫		起債	3,200
一般財源	140 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
17	可搬式送水装置購入費	1,162
	小型動力ポンプ購入費	2,178
合計		3,340

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
22	消防団消防装備品強化事業債	3,200
合計		3,200

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	0 千円
特定財源	0 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	0 千円
特定財源	0 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	0 千円
特定財源	0 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	1	目	3	目名	教育諸費

事業名：　外国語教育支援事業　　課・室名：　教育委員会　担当氏名：　飯野尚子　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】
令和6年度末で終了した外国語活動・外国語教育充実事業について、令和7年度は規模を縮小し、人事異動による新規職員への研修を行ってきたが、令和8年度も引き続き事業を継続する。
各教員の指導力向上のため、研修や研究の支援をし、持続可能な指導体制を構築する。

【本年度事業の概要】
令和8年度は、ブリティッシュ・カウンシルとの協動により、教員による自主的な研修・実践を支援する。
中学校カリキュラムの作成、効果的な指導法についての研修、授業実践に対するフィードバック、自立的な研修システムの構築を行う。
ケンブリッジ英語検定を小学6年、中学生が受験する。

（事業全体計画）
令和7年度（費用）、令和8年度（費用）、令和9年度（費用）→自立まで
（ケンブリッジ英語検定代（843,700円）
内訳　スターターズ〔小学生〕9,350円×18名
　　ムーバーズ〔中学1年生〕9,900円×22名
　　A2〔中学2・3年生〕14,300円×32名

全体計画等：令和7年度以降は、持続可能な指導体制の構築を目指す。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	8,388 千円	財源内訳			
特定財源	8,000 千円	国庫		起債	
一般財源	388 千円	県費		その他	8,000

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	外国語教育支援事業教材費	1,032
12	試験官派遣業務委託料	228
	外国語教育支援事業委託料	7,128
	合計	8,388

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	8,000
	合計	8,000

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	16,514 千円
特定財源	千円
一般財源	16,514 千円

特記事項

令和6度決算

事業費	16,095 千円
特定財源	千円
一般財源	16,095 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	9,150 千円
特定財源	8,000 千円
一般財源	1,150 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	1	目	3	目名	教育諸費

事業名：　通学支援事業　　課・室名：　教育委員会　担当氏名：　松谷　剛　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

公共交通空白地域である花坂地区から高野山学びの杜へ通学する児童・生徒の交通手段として、タクシーの利用及び公用車による運転業務を委託し送迎を行う。また、高野山地区の児童生徒には通学用定期の補助を行う。

【本年度事業の概要】

・花坂地区～学びの杜送迎委託料（個人に委託予定）
1回6,000円×往復×266日＝3,192,000円（往路小・中学生、復路中学生）
小3名中2名
・花坂地区～学びの杜間　遠距離通学タクシー
復路1回6,700円×266日＝1,782,200円
・通学用定期購入補助金
高野山小学校55名分2,568,060円　高野山中学校26名分2,630,140円

	令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
				0

予算要求の内容

事業費	10,174 千円	財源内訳			
特定財源	10,000 千円	国庫		起債	
一般財源	174 千円	県費		その他	10,000

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	遠距離通学送迎運転業務委託料	4,975
18	通学用定期購入補助金	5,199
	合計	10,174

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	10,000
	合計	10,000

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	6,041 千円
特定財源	千円
一般財源	6,041 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	8,435 千円
特定財源	千円
一般財源	8,435 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	10,819
特定財源	千円
一般財源	10,819 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	1	目	4	目名	奨学金費

事業名：　定住奨学金事業

課・室名：　教育委員会　担当氏名：　飯野尚子　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

学力が極めて優秀であり、かつ健康であって学資の支弁が困難であるとみとめられる者に対して貸与し、修学の支援をし、将来高野町に定住を志向する有為な人材の育成と確保を行う。

【本年度事業の概要】

①高野町奨学金（令和8年度810,000円）（昭和59年から実施）
〔新規〕現在、貸付件数0件
〔継続〕令和8年度現在貸付予定なし
　計画：高野町奨学金継続

②高野町定住促進奨学金（平成27年度から実施）
〔新規〕5名予定
〔継続〕6名
　計画：令和8年度（支給者11名予定）

令和7年度まで26名の貸与者があり、返済が始まった人数が5名。うち4名が居住。返済者が19名となる令和11年頃に事業の効果がわかる。

全体計画等

平成29年度から令和7年度までの支給者は26名。卒業後3年経過後居住が無い場合は返済がはじまる。令和7年度まで6名の返済対象者があり、1名は定住し期間満了した。残る5名のうち4名が居住しており、1名は定住せず返済中。令和8年度は3名の返済対象者が増えて8名となる。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	6,810 千円
特定財源	6,810 千円
一般財源	0 千円

財源内訳

国庫		起債	
県費		その他	6,810

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
20	奨学貸付金	6,810
合計		6,810

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
19	奨学基金繰入金	6,810
合計		6,810

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	6,823 千円
特定財源	6,000 千円
一般財源	823 千円

特記事項

令和6度決算

事業費	5,700 千円
特定財源	5,700 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	6,810 千円
特定財源	6,810 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	2	目	2	目名	教育振興費

事業名：　児童生徒体験活動事業　　課・室名：　教育委員会　担当氏名：　川谷　碧惟　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

管内小中学校の児童に未来を育む豊かな体験活動等の機会を提供し、内容の充実を図るとともに体験活動の一環として支援を行う。

【本年度事業の概要】

■稲作体験学習

「地域農業の大切さ」について理解を深めることを目的に、学校給食米を栽培している田んぼで田植え・稲刈り体験を実施地域団体が年間を通じて稲の調達・機械の使用も含め管理を行うための委託料。

■緑育推進事業

学校緑育事業を活用し、児童が森林や林業に触れる機会を作り和歌山の豊かな森への関心を高め、森林を守り育てる意識を育むことを目的に「森林学習」「体験学習」を実施するため、指導・原材料・資機材賃借を含めた委託料。

■感動体験

（目的）地理的要因により体験活動の少ない生徒をスポーツや文化などにおける最高水準を体験することにより、生徒の心を揺さぶり感動を与えることで将来の目標に向けた意欲を養う。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	1,168 千円	財源内訳			
特定財源	1,028 千円	国庫		起債	
一般財源	140 千円	県費	528	その他	500

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	体験学習委託料	150
	緑育推進事業委託料	528
18	感動体験活動補助金	490
	合計	1,168

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
16	緑育推進事業補助金	528
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	500
	合計	1,028

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	599 千円
特定財源	499 千円
一般財源	100 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	623 千円
特定財源	472 千円
一般財源	151 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	1,241 千円
特定財源	550 千円
一般財源	691 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	2	目	2	目名	教育振興費

事業名：　小学校義務教育無償化事業

課・室名：　教育委員会　担当氏名：　川谷　碧惟　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】
管内小学校に在籍する児童の教育活動を支援し、保護者の経済的負担を軽減し、子育ての充実を図る。

【本年度事業の概要】
児童数　高小 66名、富貴小 6名、きのかわ支援1名、転入生（予備）2名
●義務教育無償化教材費
1～5年生　教材費17,500円（内訳15,000円+漢字検定料2,500円）
6年生　　教材費17,500円（内訳15,000円+漢字検定料2,500円）
●ケンブリッジ英検
令和7年度からケンブリッジ英検料については、外国語教育支援事業で計上しているため、6年生の教材費として小学校義務教育無償化事業で計上する金額は15,000円となる。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	2,364 千円	財源内訳			
特定財源	2,000 千円	国庫		起債	
一般財源	364 千円	県費		その他	2,000

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	義務教育無償化教材費	1,265
18	義務教育無償化修学旅行費等補助金	888
19	要保護及び準要保護児童生徒援助費	138
	特別支援教育就学奨励費	73
合計		2,364

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	2,000
合計		2,000

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	3,018 千円
特定財源	千円
一般財源	3,018 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	3,299 千円
特定財源	千円
一般財源	3,299 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	2,897 千円
特定財源	千円
一般財源	2,897 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	新規

款	9	項	3	目	1	目名	中学校管理費

事業名：　富貴中学校運営事業　　課・室名：　教育委員会　担当氏名：　川谷　碧惟　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

富貴中学校の授業、行事等の学校生活に必要な物品、役務の調達等を行い、中学校運営の充実を図る。

【本年度事業の概要】

令和8年度から再開する富貴中学校を運営していくために必要となる予算要求を行う。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	124 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	124 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
7	入学記念品	7
10	消耗品費	100
11	郵送料	2
	クリーニング代	10
13	入場料	5
合計		124

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
合計		0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	3	目	2	目名	教育振興費

事業名：　中学校義務教育無償化事業

課・室名：　教育委員会　担当氏名：　川谷　碧惟　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】
管内中学校に在籍する生徒の教育活動を支援し、保護者の経済的負担を軽減し、子育ての充実を図る。

【本年度事業の概要】
対象生徒 高野山中学校38名、富貴中学校3名、転入生1名
●義務教育無償化教材費
教材費17,500円（内訳　教材費15,000円、漢字検定料2,500円、ケンブリッジ英検料5,000円）
※ケンブリッジ英検料は令和7年度より英語教育支援事業で計上しているため、本事業で計上する無償化教材費はケンブリッジ英検手数料を除いた17,500円となる。
●義務教育無償化修学旅行等補助金
●要保護児童及び準要保護児童生徒援助費
●特別支援教育就学奨励費

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	2,507 千円	財源内訳			
特定財源	2,010 千円	国庫	10	起債	
一般財源	497 千円	県費		その他	2,000

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	義務教育無償化教材費	735
18	義務教育無償化修学旅行費等補助金	1,300
19	要保護及び準要保護児童生徒援助費	355
	特別支援教育就学奨励費	117
	合計	2,507

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
15	特別支援教育就学奨励費補助金	10
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	2,000
	合計	2,010

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	2,505 千円
特定財源	千円
一般財源	2,505 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	3,677 千円
特定財源	千円
一般財源	3,677 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	3,139 千円
特定財源	千円
一般財源	3,139 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	4	目	2	目名	公民館費

事業名：　公民館活動推進事業　　課・室名：　教育委員会　担当氏名：　中尾　司　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】
公民館において各種体験教室や講習会等を開催する。

【本年度事業の概要】
公民館において体験教室や講習会、まんなかライブラリーでの読み聞かせやビデオ上映会を開催し施設利用者を増やす。
また、令和7年度で計画していた「上柿本シェフによるトウキを使った料理イベント」を令和8年度で開催する予定。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	1,285 千円	財源内訳			
特定財源	55 千円	国庫		起債	
一般財源	1,230 千円	県費		その他	55

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
7	報償費	460
8	費用弁償	162
	普通旅費	15
10	消耗品費	270
	食糧費	150
11	行事傷害保険	30
17	体験教室用備品購入費	198
	合計	1,285

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
21	体験教室参加費	20
	トウキ試食会参加費	35
	合計	55

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	27 千円
特定財源	千円
一般財源	27 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	531 千円
特定財源	0 千円
一般財源	531 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	1,114 千円
特定財源	0 千円
一般財源	1,114 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	4	目	5	目名	高野山学推進事業費

事業名：　高野山学推進事業

課・室名：　教育委員会　担当氏名：　飯野尚子　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

高野山学の事業運営に係る経費

【本年度事業の概要】

〔令和8年度計画〕

基本講座全8回、中級講座4回程度、体験講座3回程度
（講師：奥山直司）インド・チベット仏教文化、日本近代仏教史の講座
（講師：乾龍仁）金剛頂経、印度哲学等の講座
（講師：松長潤慶）真言密教、曼荼羅等の講座
（講師：藤原栄善）高野山の声明について
（講師：小金丸泰仙）十善戒について
（講師：川崎洋一）四国遍路について
（講師：土居夏樹）弘法大師の教えについて
（講師：山口文章）奥の院の森について、密教占星術等について
（講師：北川真寛）真言密教における布施（行）の意義について
（講師：坂口太郎）高野山の歴史（中世史）
（講師：大森照龍）金剛峯寺の歴史、伽藍、宝物等について

全体計画等

高野山に関する様々な事柄について、高野山大学など各分野の専門家を招き、高野山を総合的に学ぶ機会を提供する。歴史と文化によって育まれた「高野山」を体系的に学び、再発見の機会を提供し、高野山の良き理解者を多く育成するため、高野山の歴史・文化を様々な視点で学ぶための体系的な講座「高野山学」を開催する。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	1,435 千円	財源内訳			
特定財源	1,435 千円	国庫		起債	
一般財源	0 千円	県費		その他	1,435

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
7	謝礼金及び報償費	450
8	普通旅費	18
10	消耗品費	110
	食糧費	8
	印刷製本費	335
11	郵送料	46
	傷害保険料	12
	筆耕翻訳料	396
13	会場借上料	60
	合計	1,435

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
13	高野山学受講負担金	1,435
	合計	1,435

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	1,332 千円
特定財源	1,332 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	1,306 千円
特定財源	1,323 千円
一般財源	−17 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	1,300 千円
特定財源	1,300 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	5	目	2	目名	給食センター費

事業名：　学校給食運営事業　　課・室名：　教育委員会　担当氏名：　松谷　剛　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

高野町学校給食センターの調理配送業務及び施設の維持管理に係る経費

【本年度事業の概要】

■消耗品として給食で使用する汁椀が取り換え時期を超えており、安全確保の観点から更新を行うもの

■給食材料費は米価が高止まり傾向にあることから令和7年度より単価を20円引き上げたが児童・生徒の人数が減少していることから総額が減少

■給食調理及び配送業務は令和8年度より3年間の業務契約を締結することから人件費等の高騰により委託費用が増額する

■調理備品として食缶が使用期限を超えており、安全確保の観点から更新を行う。今後も計画的に食缶等の買い替えが必要となる

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	44,634 千円	財源内訳			
特定財源	36,343 千円	国庫		起債	
一般財源	8,291 千円	県費		その他	36,343

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	消耗品費	300
	給食材料費	15,522
12	検便委託料	90
	食材微生物検査委託料	155
	給食調理及び配送業務委託料	28,000
	保守点検委託料	53
17	一般備品購入費	27
	調理備品購入費	458
18	栄養士会負担金	29
合計		44,634

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
21	小学校給食費	1,360
	中学校給食費	1,332
	こども園給食費	4,651
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	29,000
合計		36,343

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	38,327 千円
特定財源	6,460 千円
一般財源	31,867 千円

特記事項

小学校1,414千円
中学校　775千円
こども園4,966千円

令和6年度決算

事業費	36,400 千円
特定財源	8,686 千円
一般財源	27,714 千円

特記事項

和歌山県公立学校給食費無償化事業補助金1,777千円
小学校1,671千円
中学校1,367千円
こども園3,871千円

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	44,264
特定財源	11,130 千円
一般財源	33,134 千円

特記事項

和歌山県公立学校給食費無償化事業補助金 3,550千円
小学校1,809千円
中学校1,103千円
こども園4,838千円

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	一般	区分	継続

款	9	項	6	目	2	目名	参詣道保存管理費

事業名：　参詣道保存管理事業　　課・室名：　教育委員会　担当氏名：　飯野尚子　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】
世界遺産でもある参詣道の維持管理に係る経費。

【本年度事業の概要】
〔高野・熊野参詣道保守点検〕 県費補助1/2見込
①高野参詣道　町石道北半
②高野参詣道　町石道南半
③荒野参詣道　京大坂道不動坂
④高野参詣道　女人道東北半
⑤高野参詣道　女人道西半
⑥高野参詣道　黒河道・女人道東南半
⑦熊野参詣道　小辺路
〔修繕計画〕
14町石付近の木橋修繕（町石道） 県費補助1/2見込
17～18町石間の木橋修繕（町石道） 県費補助1/2見込
大雨、経年劣化等での参詣道修繕（高野・熊野参詣道）
相ノ浦道（高野七口の修繕）
〔小辺路（大滝）処理施設使用料〕

全体計画等：国史跡であり世界遺産でもある高野参詣道・熊野参詣道について、適正に管理を行う。多くの人々に安全に利用してもらうための、日常的な保守点検、環境整備、き損した場合の早急な復旧を行う。参詣道パトロールを月1回、荒天後に行い、良好な参詣道を維持する。パトロールと修繕については、県の世界遺産緊急保全対策事業補助金を受けて実施する。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	6,556 千円	財源内訳			
特定財源	4,302 千円	国庫		起債	
一般財源	2,254 千円	県費	2,802	その他	1,500

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	修繕料	3,369
12	管理委託料	106
	高野・熊野参詣道保守点検委託料	3,030
13	処理施設使用料	51
	合計	6,556

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
16	文化財保護補助金	2,802
19	ふるさと応援寄附基金繰入金	1,500
	合計	4,302

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	5,765 千円
特定財源	千円
一般財源	5,765 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	4,670 千円
特定財源	2,200 千円
一般財源	2,470 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	5,991 千円
特定財源	2,517 千円
一般財源	3,474 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	国保	区分	継続

款	5	項	2	目	1	目名	その他の保健事業費

事業名：　保健事業

課・室名：　住民健康課　担当氏名：　田岡　秀基　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

令和5年度策定の第3期データヘルス計画に基づき事業を実施する。「高血圧ゼロのまち」プロジェクトを国保でもより推進する。
またデータ分析を行うことにより、新規の保健事業を立ち上げるのではなく把握できた健康課題に応じて既存の保健事業の軌道修正を図ることで、高野町に必要な事業を実施することができ、その結果、重症化予防、給付費の抑制に繋がる。

【本年度事業の概要】

健康教室、未受診者対策の取組を行う。
また、アトラス健康管理システムへの連携により、国保事業・保健指導・健診に活用する。国保連合会の特定健診等のデータ管理システムのデータを取り込み、分析や集計を行う。特定健診だけでは把握できないリスクの高い人を把握して、全体の医療費削減や重症化予防に繋げる。

・保健指導事業業務委託料
　健康教室：1,077,070円
　動脈硬化検診：1,268,640円（隔年）
　データヘルス計画中間評価支援：2,674,210円
・マルチマーカーシステム保守委託料：475,200円

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
10,311	5,970	5,970	22,251

予算要求の内容

事業費	5,970 千円	財源内訳			
特定財源	2,341 千円	国庫		起債	
一般財源	3,629 千円	県費	2,341	その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	消耗品費	14
11	医療費通知郵送料	247
	回線使用料	72
	医療費通知作成手数料	51
12	保健指導事業業務委託料	5,110
	マルチマーカーシステム保守委託料	476
	合計	5,970

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
3	保険給付費等交付金（特別交付金）	2,341
	合計	2,341

予算決算の推移

令和5年度決算	
事業費	8,891 千円
特定財源	4,131 千円
一般財源	4,760 千円
特記事項	

令和6年度決算	
事業費	6,900 千円
特定財源	3,848 千円
一般財源	3,052 千円
特記事項	

令和7年度予算（直近の補正迄）	
事業費	10,311 千円
特定財源	6,894 千円
一般財源	3,417 千円
特記事項	

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	富診	区分	継続

款	1	項	1	目	1	目名	一般管理費

事業名：　診療機器更新事業

課・室名：　富貴支所　　担当氏名：　苗代治美　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

正確な医療診断を行なうための診療機器等の維持管理
・現在使用中のエコー検査機器は平成29年1月導入のもので、耐用年数である7年を経過しており、また、経年劣化により、今後故障や性能低下のリスクが高まることが懸念される。万一、機器に不具合が生じた場合、迅速な代替機の確保や修理対応が困難な状況にある。今後も地域医療の充実、質の高い医療を提供するために令和8年度で入替が必要である。
※へき地医療対策費補助金事業（設備整備事業）と合わせての導入を予定している。

【本年度事業の概要】

【超音波機器一式】
・本体（Versana　Active　F）23,000千円　・ｺﾝﾍﾞｯｸｽ型ﾌﾟﾛｰﾌﾞ1,725千円
・ﾘﾆｱ型ﾌﾟﾛｰﾌﾞ1,725千円　・ｾｸﾀﾌﾟﾛｰﾌﾞ1,725千円
・白黒ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞﾃﾞｵﾌﾟﾘﾝﾀｾｯﾄ228千円　・Cardiac　SW　Package2,300千円
・ｴｰｶｰｸﾘｯﾌﾟ3個入6,330円　・ECG345千円　・Auto　IMAT1,150千円
・B-flow1,150千円　・ﾌﾟﾛｰﾌﾞﾎﾟｰﾄ付ｶｰﾄ690千円　・DICOM1,150千円
・ｷｬﾘﾝｸﾞﾊﾞｯｸﾞ69千円　・ﾌﾟﾛｰﾌﾞｻﾎﾟｰﾄﾌﾟﾗ@690千円
【合計￥35,935,330円▲￥29,253,330円＝￥6,700,000円】
※総計￥7,370,000円（6,700,000×1.1）

【財源】
へき地医療対策費補助金（1/2補助）
7,370千円×1/2＝3,685千円
診療機器更新事業債
事業費－補助金－起債対象外事業費
＝7,370千円－3,685千円－76千円＝3,609千円≒3,000千円

正確な医療診断・医療提供を継続して行なう

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
4,477	7,370	5,500	17,347

予算要求の内容

事業費	7,370 千円	財源内訳			
特定財源	6,685 千円	国庫		起債	3,000
一般財源	685 千円	県費	3,685	その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
17	超音波機器購入費	7,370
	合計	7,370

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
6	へき地医療対策費補助金	3,685
7	診療機器更新事業債	3,000
	合計	6,685

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	0 千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6度決算

事業費	2,695 千円
特定財源	1,171 千円
一般財源	1,524 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	4,477 千円
特定財源	3,503 千円
一般財源	974 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	財産区	区分	継続

款	1	項	1	目	1	目名	財産管理費

事業名：　財産区管理事業

課・室名：　富貴支所　担当氏名：　垣内　宏樹　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

財産区の財政運営を統括し、予算調製および執行管理を行う。

【本年度事業の概要】

○その他負担金　東富貴区　1,832,918円
　　西富貴区　498,574円
○財産区基金積立金　200,000円
○一般会計繰出金　2,000,000円

全体計画等

特別高圧送電線下補償の価格改定は5年に1度実施される。
前回は令和6年度が改定年で、単価は据え置き。次回は令和11年度に改定。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
4,535	4,535	4,535	13,605

予算要求の内容

事業費	4,535 千円	財源内訳			
特定財源	4,535 千円	国庫		起債	
一般財源	0 千円	県費		その他	4,535

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
10	消耗品費	2
11	郵送料	1
18	その他負担金	2,332
24	財産区基金積立金	200
27	一般会計繰出金	2,000
	合計	4,535

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
1	線下補償	4,535
	合計	4,535

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	4,625 千円
特定財源	4,625 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	4,554 千円
特定財源	4,554 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	4,535 千円
特定財源	4,535 千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	介護保険	区分	継続

款	4	項	2	目	1	目名	介護予防一般高齢者施策事業費

事業名：　介護予防普及啓発事業（一般高齢者施策）　　課・室名：　介護福祉課　担当氏名：　御影伸司　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

高齢者介護予防推進事業

根拠法…介護保険法第115条の45第1項2号
　　地域支援事業実施要綱、地域支援事業交付金交付要綱

【本年度事業の概要】

高齢者を対象に心身機能の維持・向上や社会参加の促進を図り、要支援や要介護状態への移行を防止することを目的として実施する事業に要する経費を計上する

令和7年度に引き続き、地域リハビリテーション活動支援事業や介護予防教室を、健康相談やサロンなど住民の「通いの場」で実施する。参加者から好評を得ている外部専門職（管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師）を講師として招聘する介護予防教室について、実施回数を増やすことで、事業内容の充実を図るとともに、新たな参加者の獲得につなげる。

全体計画等

サロンなど身近な場所で開催し、住民が要支援や要介護状態になることを予防していく。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
564	937	937	2,438

予算要求の内容

事業費	937 千円	財源内訳			
特定財源	760 千円	国庫	274	起債	
一般財源	177 千円	県費	117	その他	369

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
7	機能訓練理学療法士報償費	544
7	介護予防報償費	393
	合計	937

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
3	現年度分介護予防・日常生活支援総合事業交付金	274
4	現年度分地域支援事業支援交付金	252
5	現年度分介護予防・日常生活支援総合事業交付金	117
7	現年度分介護予防・日常生活支援総合事業繰入金	117
	合計	760

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	786 千円
特定財源	605 千円
一般財源	181 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	210 千円
特定財源	162 千円
一般財源	48 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	564 千円
特定財源	433 千円
一般財源	131 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	高診	区分	継続

款	1	項	1	目	1	目名	一般管理事業

事業名：　医療サポート連携事業

課・室名：　高野山総合診療所　担当氏名：　苗代千春　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

本町は、住民の減少、高齢化が進む一方、年間多くの観光客が訪れ、地域医療を守りつつ、観光客を含む急病・救急対応が求められている。
救急告示診療所としての機能の維持、住民観光客に365日の安心を提供する。
また、予防、啓発活動を通じ、疾病予防と健康寿命の延伸を目指す。
「住民の安心と医師と地域をつなぐ、安心の医療ネットワーク」

【本年度事業の概要】

〇救急告示診療所の機能の維持
広域医療機関と連携し、専門医の派遣並びに祝休日の宿日直応援医師確保を継続する
〇オンライン診療の活用
365日診療体制の維持には、常勤医+応援医師によるローテーションが必要となるため、医師等の負担軽減のためオンライン診療を本格始動する。
〇住民への安心安全の確保
慢性疾患管理・在宅医療の充実、健診（検診）、予防接種、多職種連携の実施（安心して暮らせる地域医療の維持）
〇観光客向け
急病、けがへの一次救急対応、多言語対応により安心を与える
（世界遺産の地で安心して滞在できる体制の維持）
応援医師制度による勤務負担軽減と働きやすい環境整備

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
			0

予算要求の内容

事業費	22,797 千円	財源内訳			
特定財源	17,656 千円	国庫		起債	
一般財源	5,141 千円	県費		その他	17,656

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
7	研修医謝礼	150
	応援医師謝礼	6,606
8	費用弁償	350
10	食糧費	243
12	応援医師診療委託料	14,998
13	応援医師タクシー使用料	450
	合計	22,797

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
3	一般会計繰入金	15,000
	国民健康保険会計繰入金	2,606
5	研修医受入事業費	50
	合計	17,656

予算決算の推移

令和5年度**決算**

事業費	22,160 千円
特定財源	1,536 千円
一般財源	20,624 千円

特記事項
・応援医師報償費・委託料
・タクシー使用料

令和6度**決算**

事業費	20,938 千円
特定財源	5,581 千円
一般財源	15,357 千円

特記事項
・応援医師謝礼・委託料
・タクシー使用料応援医師

令和7年度**予算（直近の補正迄）**

事業費	22,885 千円
特定財源	2,665 千円
一般財源	20,220 千円

特記事項
・応援医師謝礼・委託料
・タクシー使用料応援医師

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	後期高齢	区分	継続

款	3	項	1	目	1	目名	保健事業費

事業名：　高齢者保健事業

課・室名：　住民健康課　担当氏名：　前　浩樹　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

保険者である和歌山県後期高齢者医療広域連合からの受託を受け、集団健康診査を実施する。

【本年度事業の概要】

特定健診委託料　２４５千円
・集団の特定健診時の医師診察料　平日分　35名×3,000円＝105,000円
　　　　　　　　　　　　　　　　休日分　35名×4,000円＝140,000円

体組成計リース料　２６２千円
　237,600円×1.1＝261,360円（５年契約の５年目、最終年度）
契約先（株）ｳｪﾙｸﾙ

【R8年度から移行】
後期高齢、介護予防、健康作りの事業を見直し介護予防へ移行
講師謝礼170千円

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
1,922	507	507	2,936

予算要求の内容

事業費	507 千円
特定財源	0 千円
一般財源	507 千円

財源内訳

国庫		起債	
県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
12	特定健診委託料	245
13	体組成計リース料	262
	合計	507

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
	合計	0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	614 千円
特定財源	438 千円
一般財源	176 千円

特記事項

令和6度決算

事業費	596 千円
特定財源	438 千円
一般財源	158 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	712 千円
特定財源	487 千円
一般財源	225 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	高野簡水	区分	新規

款	4	項	1	目	1	目名	営業設備費

事業名：　給水車専用車庫設置事業

課・室名：　生活環境課　担当氏名：　崎山　典儀　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

令和7年12月納車予定の新給水車の車庫を高野山浄水場内に設置するもの。
新給水車はタンクの他にポンプも搭載されている。経年劣化を防ぐことや防犯面からも車庫での保管が必要になる。追加車両となり既存の車庫には入れることができない。

【本年度事業の概要】

車両購入には和歌山県の給水車両緊急整備事業補助金を活用している。
補助金交付要綱の交付条件には善良な管理者の注意により保管することが定められています。
同敷地内の下水処理場の耐震工事計画が進んでおり、車庫の設置場所や規模についてR7年度当初予算要求時には決定することができなかったため今回要求するもの。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
	6,588		6,588

予算要求の内容

事業費	6,588 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	6,588 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
6	倉庫	6,588
	合計	6,588

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
	合計	0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	高野簡水	区分	新規

款	4	項	1	目	2	目名	配水設備改良費

事業名：　高野山簡易水道配水管改良工事

課・室名：　生活環境課　担当氏名：　橋本　和也　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

高野町高野山の水道管は、昭和10年頃から整備されて埋設されている。
しかし現在まで配水管の更新を27.7%ほどしか行なっておらず、更新率も極めて低く、平成24年度策定の基本計画では配管総延長34,795mに対し、法定対応年数（40年）を超える水道管が25,167m（約72.3%）ある。昨年度も説明資料を作成したが更新工事の予算計上できていない現状である。今後は、水道事業会計の財政面も厳しい状況であるため、国庫補助金（1/3）を活用し、また簡易水道債を活用し、毎年100mぐらいの更新工事を行う。現在まで大規模な水道管布設替え工事を行なっていないが、漏水事故を防ぐように少しずつではあるが、更新を行なう。

【本年度事業の概要】

南小田原～弁天通り（本谷宅前～富貴屋）水道配水管布設工事

令和7年度までに上記の配水管での漏水が各年度に発生している。令和7年2月に発生した中本宅前の漏水では、Φ75の鋳鉄管が折れ漏水が発生した。今後も漏水が発生する可能性が高いと思われる上記区間の配水管更新工事を行なう。

現在の配管口径　Φ75mであるが、バイパス管で回している管であるので、更新後はΦ150で更新
　今年度改良工事延長77m

全体計画では耐震管の延長を伸ばしていく予定で令和5年度に更新した六時の鐘前の配水管へ接続予定

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
	9,550		9,550

予算要求の内容

事業費	9,550 千円	財源内訳			
特定財源	9,460 千円	国庫	3,160	起債	6,300
一般財源	90 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
2	配水管改良工事	9,500
4	特別分担金	50
合計		9,550

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
3	国費	3,160
3	簡易水道債	6,300
合計		9,460

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	高野簡水	区分	継続

款	4	項	1	目	2	目名	配水設備改良費

事業名：　花坂地区配水管延長布設工事

課・室名：　生活環境課　担当氏名：　橋本　和也　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

花坂地区の配水地域拡張工事、令和7年に実施設計業務を行った箇所の工事

【本年度事業の概要】

花坂地区の自然社までの配水管延長工事で、林道掛谷線への約500mに配水管
φ50mmを布設する。

全体計画等	令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
	42,081	32,439		74,520

予算要求の内容

事業費	32,439 千円	財源内訳			
特定財源	32,400 千円	国庫		起債	32,400
一般財源	39 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
2	配水管改良工事	31,394
	（配管延長布設工事）	
3	設計委託費	1,045
	（施工監理業務）	
	合計	32,439

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
3	簡易水道債	16,200
3	辺地債	16,200
	合計	32,400

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	188,079 千円
特定財源	千円
一般財源	千円

特記事項
税抜き
特定財源有り

令和6度決算

事業費	324,190 千円
特定財源	千円
一般財源	千円

特記事項
税抜き
特定財源有り

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	42,081 千円
特定財源	41,942 千円
一般財源	139 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	富貴簡水	区分	継続

款	4	項	1	目	1	目名	営業設備費

事業名：　富貴簡易水道メーター取替事業　　課・室名：　富貴支所　　担当氏名：　垣内　宏樹　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

計量法により、水道メーターは8年以内に交換する必要があります。7年度に引き続き8年度に検満日を迎えるメーターがあることから予算要求するものです。（令和9年度も継続）

【本年度事業の概要】

検満日を迎えるメーター100器を交換。前年度から60器増加するため増額。

全体計画等

令和9年度100器で交換完了。令和15年以降で検満日を迎える。

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
1,309	2,557	3,000	6,866

予算要求の内容

事業費	2,557 千円	財源内訳			
特定財源	0 千円	国庫		起債	
一般財源	2,557 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
3	自動検針設備費	2,557
合計		2,557

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
合計		0

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和6年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	0 千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	1,309 千円
特定財源	千円
一般財源	1,309 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	下水道	区分	継続

款	4	項	1	目	2	目名	下水道整備費

事業名：　公共下水道施設長寿命化事業

課・室名：　生活環境課　担当氏名：　崎山　典儀　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

下水道の管渠やポンプ場・処理場において耐震化や陳腐化・対応年数の過ぎたものの改修を行う。

【本年度事業の概要】

■下水道ストックマネジメント計画に基づく改築（管理棟改築）
350,500千円（概算）R8～R9（2年債務）の予定で管理棟耐震工事に伴う改築を行う。 **R8事業費100,000千円**

■高野山下水処理場再構築基本計画（耐震実施計画）に基づく耐震工事
187,000千円（概算）R8～R9（2年債務）の予定で高野山下水処理場管理棟の耐震を行う。 **R8事業費87,500千円**

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
57,000	187,500	350,000	594,500

予算要求の内容

事業費	187,500 千円	財源内訳			
特定財源	187,450 千円	国庫	101,250	起債	86,200
一般財源	50 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
1	公共_長寿命化対策支援業務委託料	
	（下水道ストックマネジメント計画に基づく改築（管理棟改築））	100,000
	（高野山下水処理場再構築基本計画（耐震実施計画）に基づく耐震工事）	87,500
合計		187,500

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
3	国庫補助金	101,250
3	下水道債	86,200
合計		187,450

予算決算の推移

令和5年度**決算**

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	千円

特記事項

令和6年度**決算**

事業費	12,000 千円
特定財源	6,000 千円
一般財源	6,000 千円

特記事項

令和7年度**予算（直近の補正迄）**

事業費	57,000 千円
特定財源	28,500 千円
一般財源	28,500 千円

特記事項

令和8年度　予算説明資料（当初）

会計	下水道	区分	継続

款	4	項	1	目	2	目名	下水道整備費

事業名：　公共下水道事業計画作成業務

課・室名：　生活環境課　担当氏名：　崎山　典儀　（単位：千円）

事業の必要性・概要及び効果

【事業概要（目的、趣旨）】

事業計画は、全体計画に定められた施設のうち、5～7年間で実施する予定の施設の配置等を定める計画であり、下水道を設置しようとするときは、事業計画を策定する必要があります。【下水道法第4条(公共下水道の場合)】

平成27年5月の下水道法の改正に伴い、今後の下水道の維持管理を適切なものとするため、事業計画等で施設の点検の頻度・方法を示すとともに、施設の設置及び機能の維持に関する中長期的な方針等を示すこととされました。

【本年度事業の概要】

令和7年度に作成中の雨水管理総合計画に基づき気候変動分1.1倍を含む計画降雨量（10年確率）を見直し事業計画を変更するもの。

事業計画を変更後令和9年度以降に交付金事業として浸水対策を行う。

全体計画等

令和7年度まで	令和8年度	令和9年度以降	合計
	20,000		20,000

予算要求の内容

事業費	20,000 千円	財源内訳			
特定財源	10,000 千円	国庫	10,000	起債	
一般財源	10,000 千円	県費		その他	

主な要求内容（歳出）

節	予算書説明	要求額
1	公共_事業計画作成業務委託料	20,000
合計		20,000

主な要求内容（歳入）

款	予算書説明	要求額
3	国庫補助金	10,000
合計		10,000

予算決算の推移

令和5年度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	千円

特記事項

令和6度決算

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	千円

特記事項

令和7年度予算（直近の補正迄）

事業費	千円
特定財源	千円
一般財源	千円

特記事項